



板橋区立志村第三中学校 学校だより

進取

蓮根学びのエリア（志村三中・志村六小・蓮根小・蓮根二小）



令和8年度7月号

校長 高橋 雄一

☆彡 中学校生活最後の大会 ☆彡

6月中旬から開催されているサッカーのワールドカップ2026北中米大会。日本代表は予選リーグから快進撃を続け、決勝トーナメントに進出しました。今、日本中が大いに盛り上がっています。

板橋区では4月から6月にかけて、板橋区総合体育大会、いわゆる「総体」が開催されました（陸上部は9月に開催予定です）。9年生にとっては中学校生活最後の大会であり、その大会に懸ける思いは非常に大きなものであると想像できます。私も日々練習に励んでいる生徒たちの姿を現地で見届けたいと思い、時間の許す限り会場に足を運びました（残念ながら、すべての部の試合を観戦することはできませんでした…）。

どの会場に行っても、試合前の準備をしている生徒たちの表情からは、気迫や期待、緊張感などがひしひしと伝わってきて、思わず「みんな頑張れ！」という気持ちになりました。生徒たちはこの日に迎えるまでに、多くの時間を費やして練習を重ね、目標に向かって努力してきたはずです。順調に上達した人もいれば、思うように上達せず悩んだり苦しんだりした人もいたことでしょう。それでも仲間とともに努力し、試合に全力で挑む姿は、見ている人たちに感動を与えてくれました。私は、ここまで積み重ねてきた練習の成果をすべて出し切ってほしいと願いながら観戦していました。

特に印象に残ったのは、生徒たちの熱量と応援の力です。生徒たちは大きな声を出して気合を入れ、気持ちを奮い立たせていました。また、チームメイトや保護者の方々も、声が枯れるくらい大きな声で応援していました。応援には大きな力があり、ものすごい威力を発揮し、選手の背中を押してくれます。それまで不利な状況にあっても、応援によって勇気づけられ、流れを引き寄せたり形勢が逆転したりすることもあるのです。そんな場面が何度も見ることができ、興奮の連続でした。

そして、大会には必ず勝敗がついてきます。全国大会で優勝するチームでなければ、いつかは負ける日が訪れます。しかし、大切なのは結果だけでなく、最後まで努力を続けたこと、あきらめず粘り強く挑戦したこと、仲間と協力して目標を追い続けたことなどだと思います。すべての経験が、生徒たちの成長につながったと信じています。部活動を通して身に付けた礼儀や感謝の心、協調性、責任感などは、今後の人生においても必ず生きてくるはずです。

部活動をやり切った今、新たな目標を定め、次の一步を力強く踏み出してほしいと思います。



☆彡 生徒の活躍 ☆彡

- バレーボール部 （女子）板橋区総合体育大会 志村三中 1-2 板橋二中 惜敗
志村三中 2-1 日大豊山女子中 勝利
（男子）第4ブロック大会 予選リーグ 惜敗
- バスケットボール部 （男子）板橋区総合体育大会 2回戦
志村三中 55対83 志村一中 惜敗
- ソフトテニス部 （女子）板橋区総合体育大会 個人戦 ○○・○○ペア(9年) ベスト16
○○・○○ペア(8年) ベスト16
団体戦 ベスト16
（男子）板橋区総合体育大会 団体戦 予選リーグ 惜敗
- 卓球部 （女子）板橋区総合体育大会 団体戦 予選リーグ 0勝2敗 惜敗
（男子）板橋区総合体育大会 団体戦 予選リーグ 0勝3敗 惜敗
- バドミントン部 （女子）板橋区総合体育大会 個人戦 ペア（9年） ペア（8年）
団体戦 優勝 第4ブロック大会出場
（男子）板橋区総合体育大会 個人戦
団体戦 第4位 第4ブロック大会出場
- 陸上部 第72回板橋陸上競技選手権大会 中学女子200m 第1位 ○○ ○○さん
3年女子100m 第2位 ○○ ○○さん
2・3年女子800m 第3位 ○○ ○○さん
中学女子2・3年走幅跳 第3位 ○○ ○○さん
中学女子4×100mR 第1位 ○○ ○○さん
○○ ○○さん
○○ ○○さん
○○ ○○さん
- 野球クラブ 板橋区総合体育大会 第3位 第4ブロック大会 惜敗

